

「議会のあり方」検討協議会第7回第2部会 協議概要

- 1 日 時 平成24年5月16日（水）午後1時から午後2時40分
- 2 会 場 議会棟 3階 第2委員会室
- 3 出席者 （委員）布施部会長、山田副部会長  
川村委員、段木委員、酒井委員、佐々木(友)委員  
小田委員  
小川委員長、奥井副委員長  
（事務局）事務局次長及び調査課長 他3人
- 4 傍聴者 （議員）なし  
（一般）3人

5 協議事項及び協議結果

- (1) 第6回部会における協議概要等について  
資料を配付し、了承を得た。

- (2) 「市民参加の推進に関すること」について  
正副部会長案について、各委員から意見聴取を行った。

(主な意見等)

- ・ 議会活動における市民参加という部分については、メリット・デメリットというものがあるのではないか。
- ・ 論点（1）の方策は、まとまった単位ごと、地域単位ごとに政策立案していくときのプロセスのようなものを作り上げていくことか。
- ・ 市民に対し、可能な限り議会への参加を保障（確保）することを位置づけておくことは必要ではないか。
- ・ 議会における市民参加は進んでいないという共通認識があるので、身近にするために、政策条例をもっと議会として作っていこうというメッセージを、我々がしっかり市民に発信していくことが大事では。それが結果として市民から話を聴いて行こうということにつながるのではないか。
- ・ 市民が議会に参加していく方法を体系づけし、整理して発信していくことが方策の一つとして挙げられるのではないか。
- ・ 市民の存在を常に客観的に持っているか、ということが大切ではないか。

- 区委員会（協議会）の役割は、情報の発信と情報の共有ということ positioning していくべきではないか。また、区委員会（協議会）の権限はきちんと決めておかなければいけないのではないか。
- お互いに具体策を出し合っていくこと、課題を整理していくこと、優先順位をどのように付けていくのか、この3点を議論していかなければいけないのではないか。
- 2（2）の4項目については、課題を洗い出すなど、どんどん煮詰めていく必要があるのではないか。
- 2（2）は全部議論した方がいい。一番重要なのは、議会報告会と意見交換会をどうするかということではないか。

各委員から述べられた意見等を踏まえ、次回引き続き協議することとなった。

（3）今後の開催日程について

次回の部会は正副部会長で調整し、後日連絡する旨を確認した。